

かき殻の新活用法を開発



～ 「かき殻」から油吸着材 ～

連携機関 | 丸栄株式会社, NPO法人広島循環型社会推進機構
研究期間 | 平成25年度[受託研究]

技術支援のきっかけ

- ◆ 全国第一位のかき生産県である広島県では、多量のかき殻が発生しています。このかき殻は、鶏の飼料や肥料として利用されていますが、近年利用されないかき殻が増加傾向にあります。
- ◆ かき殻が多孔質構造であることに着目し、かき殻処理企業と共同で油吸着材への再利用方法を開発しました。

技術支援の内容

- ◆ 粒度別のかき殻粉砕品に対して、油吸着量評価を行い、油吸着材としての有効性を見出しました。
- ◆ かき殻は、バッテリー液を中和できるという他の市販吸着材にはない性能も見出しました。
- ◆ かき殻利用の新しい事業に期待が持てる結果となり、かき殻処理企業では製品化して市場販売を行うことになりました。



製品化されたかき殻油吸着材



路上の油を吸収している様子



油吸着後の回収作業の様子

技術支援の活用場面

- ◆ 平成26年12月から、全国規模のロードサービス会社を通じて販売展開しています。
- ◆ かき殻を活用した新しい事業を生み出すことにより、かき殻の有効活用促進が期待されます。

問い合わせ先 | 西部工業技術センター技術支援部 | TEL 0823-74-1151